

平成29年8月31日  
東海三県地盤沈下調査会

**地盤沈下沈静化も、高まる自然災害に備えて継続的な観測・監視が必要**  
～平成28年における濃尾平野の地盤沈下状況等とりまとめ～

東海三県地盤沈下調査会は、平成29年8月29日に東海三県地盤沈下調査会 評議会を開催し、平成28年における濃尾平野の地盤沈下および地下水位の状況等についてとりまとめましたので、お知らせします。

**【主な概要】**

- ・ 平成28年に水準測量を実施した水準点の総数は903点であり、年間1cm以上沈下した水準点は4点あったが各々単独であり、平成19年度以降、10ヵ年連続で沈下域は形成されなかった。
- ・ 地下水位の経年的な傾向については、昭和50年代前半より回復（上昇）傾向に転じ低下・上昇を繰り返しながら、近年は横ばい傾向にある。
- ・ 最近5ヶ年（平成24年～平成28年）では、沈下しやすい軟弱な粘土層が厚く堆積している濃尾平野中西部に累積沈下量が大きい地域が分布しているものの、これらの地域でも沈下量は年間1cm程度と緩やかである。
- ・ 当地域の地盤沈下は沈静化してきているが、自然災害の潜在的危険性が高い地域であるので、地盤沈下状況の観測・監視ならびに地盤沈下対策を継続して行う必要がある。

□ 配布資料：

- ・【概要資料】平成28年における濃尾平野の地盤沈下の状況
- ・平成28年における濃尾平野の地盤沈下の状況
- ・地盤沈下等量線図

□ 配布先： 中部地方整備局記者クラブ

問い合わせ先：

東海三県地盤沈下調査会 事務局

- ・国土交通省 国土地理院 中部地方測量部 測量課 測量課長 塩見 和弘  
TEL：052-961-5646（直通）
- ・国土交通省 中部地方整備局 河川部 河川計画課 課長補佐 細野 貴司  
TEL：052-953-8148（直通）